

10/529274  
Re JPO 2003/09452  
25 MAR 2005  
25.07.03

日本国特許庁

JAPAN PATENT OFFICE

REC'D 12 SEP 2003

WIPO

PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2002年 9月27日

出願番号  
Application Number: 特願2002-284312

[ST. 10/C]: [JP 2002-284312]

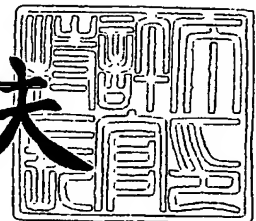
出願人  
Applicant(s): ジョンソン コントロールズ オートモーティブ システム  
ズ株式会社

PRIORITY DOCUMENT  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH  
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 8月29日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3070443

【書類名】 特許願  
【整理番号】 A02-041  
【提出日】 平成14年 9月27日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 A47C 7/48  
【発明の名称】 自動車用シート  
【請求項の数】 3

## 【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県綾瀬市小園 7 7 1 番地 ジョンソン コントロ  
ールズ オートモーティブ システムズ株式会社内

【氏名】 佐藤 信也

## 【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県綾瀬市小園 7 7 1 番地 ジョンソン コントロ  
ールズ オートモーティブ システムズ株式会社内

【氏名】 沢崎 誠

## 【特許出願人】

【識別番号】 000210089

【氏名又は名称】 ジョンソン コントロールズ オートモーティブ シス  
テムズ株式会社

【代表者】 宮田 進

## 【代理人】

【識別番号】 100083806

## 【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 秀和

【電話番号】 03-3504-3075

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100068342

## 【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 保男

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100100712

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩▲崎▼ 幸邦

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100087365

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗原 彰

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100079946

【弁理士】

【氏名又は名称】 横屋 赳夫

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100100929

【弁理士】

【氏名又は名称】 川又 澄雄

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9713250

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 自動車用シート

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 シートバックの頂部に、左右に離間し且つ上下動自在に係合されてなるステー本体及び該ステー本体を左右に連結されてなる連結部とよりなるステーと、該ステーを介して回転自在に支持されてなるヘッドレスト本体とより構成されてなるヘッドレストが支持されてなる自動車用シートにおいて、

前記ヘッドレスト本体は、前記ステーの連結部を覆う発泡材よりなるパッドと、該パッドを覆う表皮とよりなり、

該表皮には、前記ステーのステー本体から連結部にかけてのコーナー部を覆う収納部及び該収納部の連結部側の面のみに形成した連結部の挿通可能な開口が形成されてなることを特徴とする自動車用シート。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の自動車用シートであって、

前記開口は、ヘッドレスト本体の回転中心である連結部と同軸位置に形成されてなることを特徴とする自動車用シート。

【請求項 3】 請求項 1 又は請求項 2 に記載の自動車用シートであって、

前記開口は、前記ステーの連結部の直径の略半分の直径に形成されてなり、

前記収納部は、伸縮性を有する材料より形成されてなることを特徴とする自動車用シート。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、自動車用シート、特にそのヘッドレスト構造に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来の自動車用シートとしては、例えば、図 5 乃至図 8 に示すものがある。シートクッションと、該シートクッションに対して立設位置に保持可能なシートバックとは周知のため図示しない。該シートバックの頂部には、ヘッドレスト 1 0 0 が支持されてなる。前記ヘッドレスト 1 0 0 は、ステー 1 0 1 とヘッドレス

ト本体102とより構成されてなる。前記ステー101は、前記シートバックの頂部に左右に離間して固設された図示しないホルダーに対して上下動自在に係合されてなるステー本体103、103と、該ステー本体103、103を左右に連結されてなる連結部104とよりなる（例えば、特許文献1）。

#### 【0003】

##### 【特許文献1】

実開平7-39607号公報（段落0011～0013，図1、図2参照。）

#### 【0004】

前記ヘッドレスト本体102は、前記ステー101の連結部104に固持されたブラケット105と、該ブラケット105を覆う布等よりなる表皮106と、前記ステー101の連結部104、ブラケット105そして表皮106間に発泡されてなるポリウレタンフォーム製のパッド107とより構成されてなる。シートバックに固定される前記ステー101に対して、前記ヘッドレスト本体102が回転可能であり、換言すると、前記ヘッドレスト本体102に対して、前記ステー101が回転可能であるから、該ステー101の回転代Lとなる表皮106の開口108から成形時のパッド107のウレタンフォームがはみ出さないようにステー101にパッチ109を支持して、ステー101の回転代となる表皮106の筒状の開口108を塞いでいる。

#### 【0005】

##### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このような従来の技術にあつては、ヘッドレスト100の下面とステー101の連結部104との隙間Hが大きくなるとパッチ109は挿入支持できないが、隙間Hが大きくなると、開口108の回転代Lが長くなり、パッド107が発泡時に開口108から外側にはみ出すおそれが高くなる。また、ヘッドレスト100の下面とステー101の連結部104との隙間Hが大きいことを常に求められると、造形自由度が制限される。

#### 【0006】

そこで、この発明は、このような従来の技術に着目してなされたものであり、

パッドが発泡されるときに開口からはみ出す可能性を可及的に少なくすると共にヘッドレストの下面とステアの連結部との隙間を小さくした造形自由度の大きいヘッドレストを有する自動車用シートを提供するものである。

#### 【0007】

##### 【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の発明は、シートバックの頂部に、左右に離間し且つ上下動自在に係合されてなるステア本体及び該ステア本体を左右に連結されてなる連結部とよりなるステアと、該ステアを介して回転自在に支持されてなるヘッドレスト本体とより構成されてなるヘッドレストが支持されてなる自動車用シートにおいて、前記ヘッドレスト本体は、前記ステアの連結部を覆う発泡材よりなるパッドと、該パッドを覆う表皮とよりなり、該表皮には、前記ステアのステア本体から連結部にかけてのコーナー部を覆う収納部及び該収納部の連結部側の面のみに形成した連結部の挿通可能なる開口が形成されてなる。

#### 【0008】

請求項1に記載の発明によれば、開口が表皮の収納部の連結部側の面のみであるので、従来のようなパッチが無くてもパッド成形時の発泡圧によって発泡材がはみ出しにくいことになる。このように、従来のようなパッチが無くても良いので、ヘッドレスト本体の下面とステアの連結部との隙間を小さくでき、造形自由度の大きいヘッドレストとすることができる。

#### 【0009】

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の自動車用シートであって、前記開口は、ヘッドレスト本体の回転中心である連結部と同軸位置に形成されてなる。

#### 【0010】

請求項2に記載の発明によれば、請求項1の効果に加え、連結部と同軸位置の開口は、ヘッドレスト本体が回転する時にも動かない中心となるので、外観に影響を与えない。

#### 【0011】

請求項3に記載の発明は、請求項1又は請求項2に記載の自動車用シートであって、前記開口は、前記ステアの連結部の直径の略半分の直径に形成されてなり

、前記収納部は、伸縮性を有する材料より形成されてなる。

#### 【0012】

請求項3に記載の発明によれば、請求項1又は請求項2に記載の効果に加え、開口はステアの連結部に密着し、隙間が生じないので、発泡材の液漏れがより確実に防止できる。しかも、収納部が伸縮性のある材料よりなるので、表皮とステアとの係合作業は容易である。

#### 【0013】

##### 【発明の実施の形態】

以下、この発明の好適な実施形態を図面に基づいて説明する。尚、FRを前側として説明する。

#### 【0014】

図1乃至図4は、この発明の一実施形態を示すもので、符号1は、ヘッドレストで、該ヘッドレスト1は、ステア2と、該ステア2を介して回転自在に支持されてなるヘッドレスト本体3とより構成されてなる。

#### 【0015】

前記ステア2は、図示しないシートバックの頂部に支持されてなるホルダーに上下動自在に係合されてなると共に左右に離間しているステア本体4と、該ステア本体4を左右に連結されてなる連結部5とよりなる。前記連結部5の位置は、前記ヘッドレスト1の回転中心位置である。

#### 【0016】

前記ヘッドレスト本体3は、前記ステア2の連結部5を覆うポリウレタンフォームなどの発泡材よりなるパッド6と、該パッド6を覆う布材などの伸縮性を有する表皮7とよりなる。該表皮7には、前記ステア2のステア本体4から連結部5にかけてのコーナー部8を覆う収納部9及び該収納部9の連結部5側の面9aのみに形成した連結部5の挿通可能な開口10が形成されてなる。

#### 【0017】

前記開口10は、前記ステア2の連結部5の直径の略半分の直径に形成されてなる。

#### 【0018】



前記収納部 9 は、前記ステー 2 のステー本体 4 が挿入されると共に、図 2 に示すような実線位置のステー本体 4 が二点鎖線で示す位置に回転できるための回転代 L の縫製されていない部分がある。符号 1 1 が、その縫製されてなる糸の線である。

#### 【0 0 1 9】

次に、この実施形態に係る作用を説明する。

#### 【0 0 2 0】

開口 1 0 が表皮 7 の収納部 9 の連結部 5 側の面 9 a のみであるので、従来のようなパッチが無くてもパッド 6 成形時の発泡圧によって発泡材がはみ出しにくいことになる。このように、従来のようなパッチが無くても良いので、ヘッドレスト本体 3 の下面とステー 2 の連結部 5 との隙間を小さくでき、造形自由度の大きいヘッドレスト 1 とすることができる。

#### 【0 0 2 1】

連結部 5 と同軸位置の開口 1 0 は、ヘッドレスト本体 3 が回転する時にも動かない中心となるので、外観に影響を与えない。

#### 【0 0 2 2】

開口 1 0 はステー 2 の連結部 5 に密着し、隙間が生じないので、発泡材の液漏れがより確実に防止できる。しかも、収納部 9 を含めて表皮 7 が伸縮性のある材料よりなるので、表皮 7 とステー 2 との係合作業は容易である。

#### 【0 0 2 3】

#### 【発明の効果】

請求項 1 に記載の発明によれば、開口が表皮の収納部の連結部側の面のみであるので、従来のようなパッチが無くてもパッド成形時の発泡圧によって発泡材がはみ出しにくいことになる。このように、従来のようなパッチが無くても良いので、ヘッドレスト本体の下面とステーの連結部との隙間を小さくでき、造形自由度の大きいヘッドレストとすることができる。

#### 【0 0 2 4】

請求項 2 に記載の発明によれば、請求項 1 の効果に加え、連結部と同軸位置の開口は、ヘッドレスト本体が回転する時にも動かない中心となるので、外観に影

響を与えない。

【0025】

請求項3に記載の発明によれば、請求項1又は請求項2に記載の効果に加え、開口はステアの連結部に密着し、隙間が生じないので、発泡材の液漏れがより確実に防止できる。しかも、収納部が伸縮性のある材料よりなるので、表皮とステアとの係合作業は容易である。

【図面の簡単な説明】

【図1】

この発明の一実施形態に係るヘッドレストをひっくり返して見た斜視図。

【図2】

図1のヘッドレストの一部の説明図。

【図3】

図1のSA-S A線に沿った断面図。

【図4】

図3の矢視DBにかかる収納部と開口を示す斜視図。

【図5】

従来例のヘッドレストを示す斜視図。

【図6】

図5のC部の拡大斜視図。

【図7】

図5のSD-S D線に沿った断面図。

【図8】

図7のSE-S E線に沿った作動を説明する断面図。

【符号の説明】

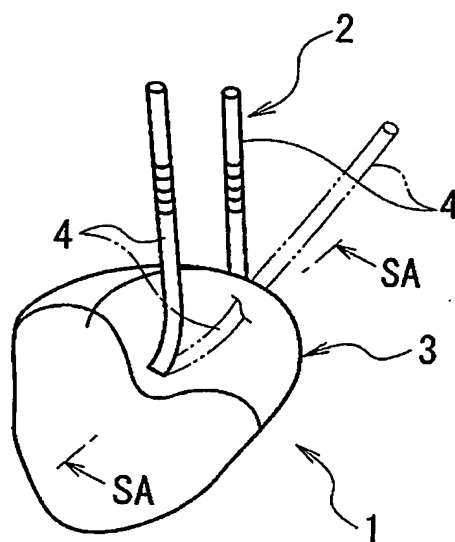
- 1 ヘッドレスト
- 2 ステア
- 3 ヘッドレスト本体
- 4 ステア本体
- 5 連結部

- 6 パッド
- 7 表皮
- 8 スターのスター本体から連結部にかけてのコーナー部
- 9 収納部
- 9 a 収納部の連結部側の面
- 1 0 開口

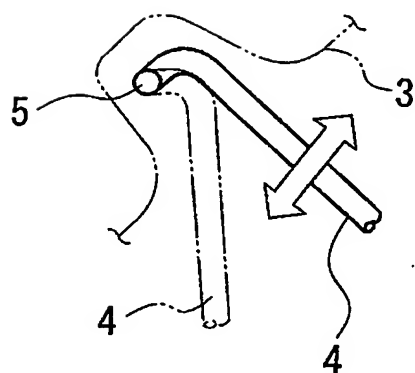
【書類名】

図面

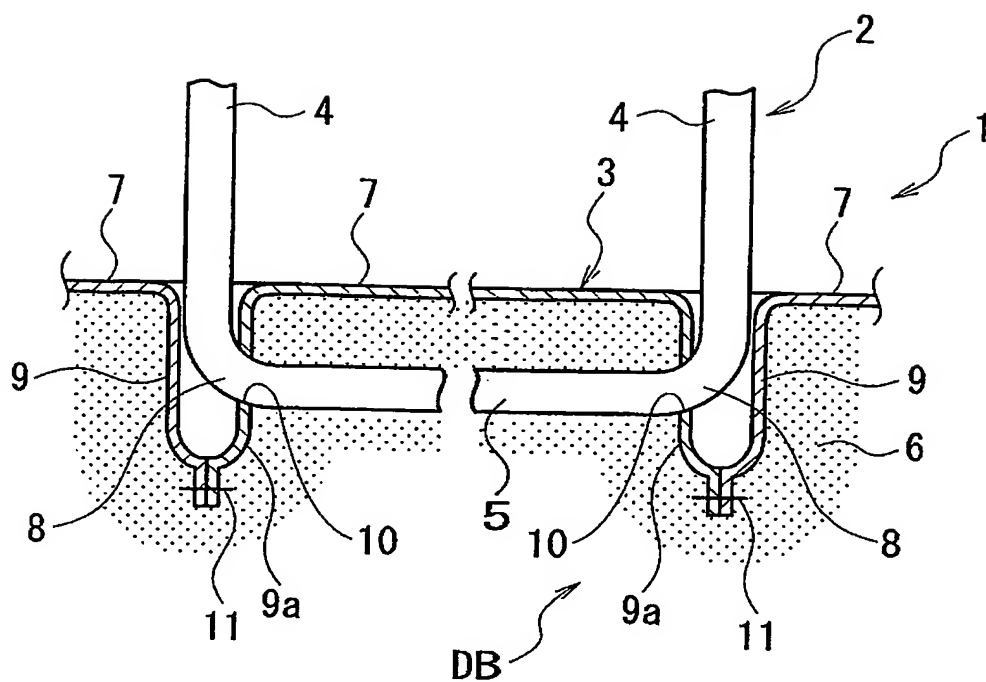
【図1】



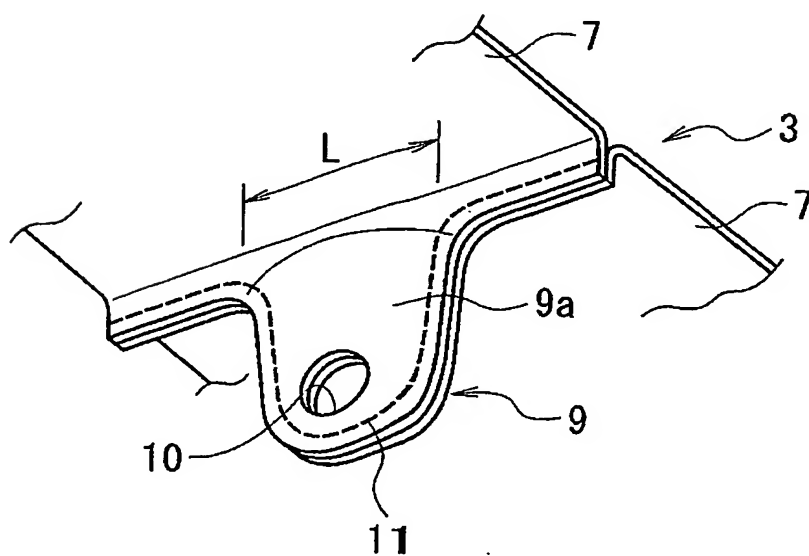
【図2】



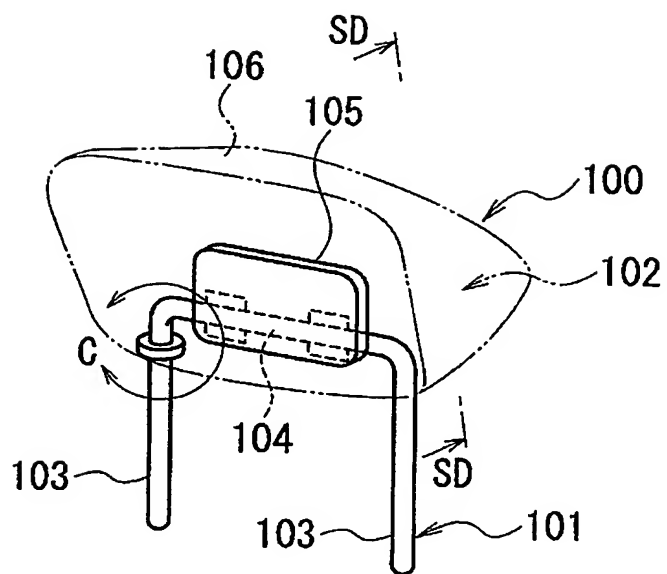
【図 3】



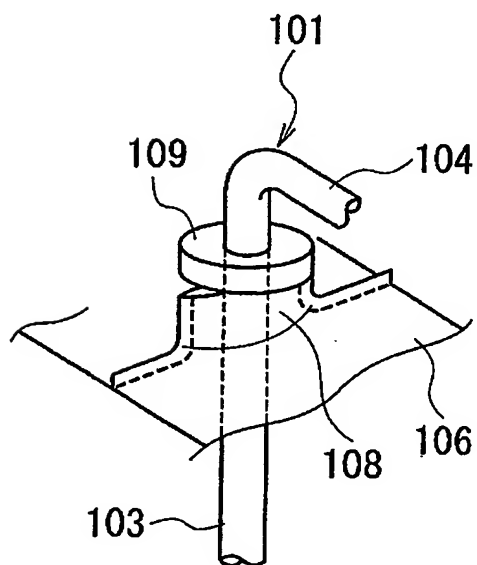
【図 4】



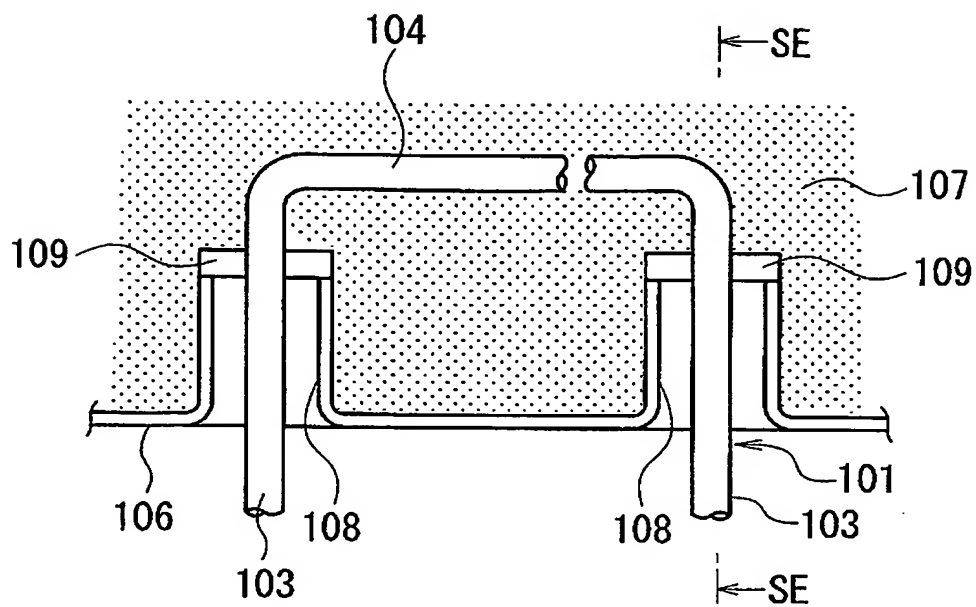
【図 5】



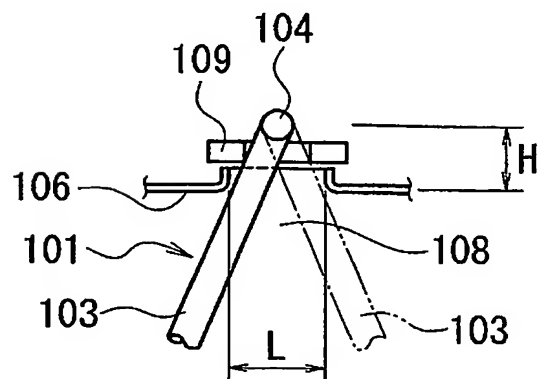
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 パッドが発泡されるときに開口からはみ出す可能性を可及的に少なくすると共にヘッドレストの下面とステアの連結部との隙間を小さくした造形自由度の大きいヘッドレストを有する自動車用シートを提供する。

【解決手段】 ヘッドレスト本体3は、ステア2の連結部5を覆う発泡材よりなるパッド6と、該パッド6を覆う表皮7とよりなり、該表皮7には、ステア2のステア本体4から連結部5にかけてのコーナー部8を覆う収納部9及び該収納部9の連結部5側の面9aのみに形成した連結部5の挿通可能なる開口10が形成されてなる。

【選択図】 図3



特願 2 0 0 2 - 2 8 4 3 1 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[ 0 0 0 2 1 0 0 8 9 ]

1. 変更年月日  
[変更理由]

2 0 0 1 年 4 月 2 日

名称変更

住所変更

住 所  
氏 名

神奈川県綾瀬市小園 7 7 1 番地

ジョンソン コントロールズ オートモーティブ システムズ  
株式会社